別紙３（提案書様式）

**〔表紙〕**

**「酪農スラリーの高度肥料利用のための技術開発」**

**課題提案書**

※本表紙以降の公募課題名欄においても、同様に提案課題名を記載してください。

令和○○年○○月○○日

代表機関名　　　○○○○○株式会社

代表者氏名　　　代表取締役社長　○○　○○

技術開発代表者　○○部長　○○　○○

所　在　地　　　○○県○○市・・・・・・（郵便番号○○○－○○○○）

連　絡　先　　　所　属　○○部　△△課

役職名　○○○○部長

氏　名　○　○　　○　○

所在地　○○県○○市・・・・・・（郵便番号○○○－○○○○）

※連絡先が所在地と異なる場合は、連絡先所在地を記載

ＴＥＬ　△△△△－△△－△△△△（代表）内線△△△△

ＦＡＸ　△△△△－△△－△△△△

酪農スラリーの高度肥料利用のための技術開発

技術開発実施計画書

**１**　**技術開発の達成目標及び内容等**

**１－１　技術開発の目的**

提案する技術開発課題に係る目的について、以下の内容に従い記載してください。

○○○○･･････（技術開発の背景や意義、開発目標、プロジェクト開始までの研究の経緯等を記載）･･････。

このため、本技術開発では、

１．○○○○･･･（小課題名又は実行課題名を箇条書きしてください。）

２．○○○○･･･

により、○○○○････を解明し、○○の開発を目標とする。（目標が多い場合は、箇条書きも可。）

その結果、

１．○○○○（目標達成による農林水産業や国民に対する波及効果を記載。）

２．○○○○･･･

が期待される。

**１－２　技術開発の達成目標**

１　本技術開発における最終目標・技術的成果

本技術開発課題に係る成果の目標を、極力数値を入れて、具体的に記載してください。

２　技術開発の各年度（各年度３月末時点）における進捗目標値

開始後各年度の末時点での技術開発の進捗目標値について、最終目標を100％とした場合の数値を記載してください。目標が複数ある場合は、目標ごとに記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
| ○○○の開発 | 30% | 70% | 100% |
| ○○マニュアルの作成 |  |  |  |
| ・・・ |  |  |  |

**１－３　技術開発の内容**

１　小課題名○○（小課題責任者名○○・研究機関○○）を記載

○○・・・・・・・・小課題の内容（開発目標、手法等）を記載

（１）実行課題名○○（実行課題責任者名○○・研究機関○○）

○○・・・・・実行課題の内容（開発目標、手法等）を記載。

（２）実行課題名○○（実行課題責任者名○○・研究機関○○）

○○・・・・・

提案する開発課題に係る技術開発の方式又は方法について、公募要領で提示した技術開発の具体的内容及び達成目標を踏まえて、具体的に記載してください。また、１－２の目標を達成するために解決すべき技術的問題とそれを解決する手法について、従来一般的に行われてきた方法（従来技術等）と比較するなどして、分かりやすく記載してください。

必要であれば、技術開発内容の理解を容易にする図表等を添付してください。

**１－４　技術開発された成果の実用化・事業化、普及に向けた出口戦略**

当該委託業務から得られた技術開発成果の実用化・事業化、普及に向けて、どのような手法で取り組むのか（実用化・事業化、普及の目標時期や道筋を段階的に明らかにするとともに、各機関がどのような役割を担うのか、具体的にどのような取組をいつ行うのかについてそれぞれ明らかにしてください。）、知的財産権の取扱いを含めて、具体的に記載してください。

また、実用化や普及に伴う波及効果・国民生活等への貢献についても記載してください。

**１－５　技術開発の年次計画**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 技術開発課題 | 実施年度 | 担当研究機関・研究室 |
| ５ | ６ | ５ | 機関 | 研究室 |
| 代表機関 |  |  |  | ○○研究センター | ○○チーム |
| １　○○○の開発（小課題名を記載） | ○ | ○ | ○ | ○○大学 | ○○研究科 |
| １－１　○○○の調査（実行課題名を記載） | ○ | ○ | ○ | ○○研究所 | ○○ユニット |
| １－２　○○○の開発 |  | ○ | ○ | ○○農業試験場 |  |
| １－３　○○○ |  |  |  | ※略称可 |  |
| ２　△△△の開発 |  |  |  |  |  |
| ２－１　×××の開発 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

（注１）担当研究機関・研究室には各技術開発課題の責任者（小課題責任者、実行課題責任者）が所属する部署を記載してください。

（注２）代表機関及び共同研究機関の本技術開発課題に関係する研究者を研究者一覧（様式２）

に記載してください。

（注３）技術開発代表者の研究経歴を技術開発代表者研究経歴書（様式３）に、また、その他の研究員の研究経歴を研究員研究経歴書（様式４）に記載してください。

※　なお、研究支援者（分析・実験・研究補助担当者、装置製作・改造等担当者等）については、必ずしも（様式２）・（様式４）の提出の必要はありません。

**１－６　情報管理実施体制**

（例示）

|  |  |
| --- | --- |
| 【代表機関：○○○○○○○○○○○○】情報管理統括責任者　　役職：○○○○　　氏名：○○○○情報管理責任者　　役職：○○○○　　氏名：○○○○ | 【共同研究機関：○○○○○○○○○○】　情報管理責任者　 役職：○○○○　 氏名：○○○○【共同研究機関：○○○○○○○○○○】　情報管理責任者　 役職：○○○○　 氏名：○○○○【共同研究機関：○○○○○○○○○○】　情報管理責任者　 役職：○○○○　 氏名：○○○○ |

（注）４－２に掲載されている情報管理統括責任者及び責任者は、必ず記載願います。

 **１－７　技術開発実施体制図**

（例示）

|  |
| --- |
|  |
|  | 農研機構 |  |
|  **委 契****託 約** |
|  | コンソーシアム |  |
|  |  |  |  |
|  |
|   | 共同研究機関 |  | 【代表機関】 |  | 共同研究機関（普）注２ |  |
|  |  |  |
|  | ○○大学 |  |  | ○○〇〇〇株式会社 |  |  | ○○改良普及センター |  |
| ・研究実施場所：　○○センター(〇区)・技術開発課題：　○○の技術開発 | 【技術開発代表者】・研究実施場所：　○○研究センター(〇〇市)・技術開発課題：　○○○○の開発 | ・研究実施場所：　○○センター(〇〇市)・技術開発課題：　○○の実証試験 |
|  　   |
|  | 共同研究機関 |  | 共同研究機関 |  | 共同研究機関 |  |
|  |  |  |
|  | ○○株式会社 |  |  | ○○県試験場 |  |  | ○○大学 |  |
| ・研究実施場所：　○○研究所(〇〇市)・技術開発課題：　○○○の評価 | ・研究実施場所：　○○支所（○○市）・技術開発課題：　○○○の解明 | ・研究実施場所：　○○研究室（〇〇市）・技術開発課題：　○○○の開発 |
|  コンソーシアムの規程等に基づく資料請求・交付  |
| （注１）機関ごとに、実施場所、実施項目を記載してください。（注２）「普及・実用化支援組織」については名称の後に（普）と、また「農林漁業者等」については名称の後に（農）、（林）、（漁）等と、そのことが分かるように記載してください。 |

**２　細部技術開発計画**

**２－１　技術開発計画**

１　小課題名を記載

こちらで小課題の全期間中に行う技術開発内容（開発目標、手法等）を記載してください。コンソーシアムを設立していない単独機関の技術開発課題で、小課題がなく実行課題のみ設定の場合は、提案課題全体の内容を記載してください。

（１）技術開発の進捗状況

この小課題に関連するこれまでの技術開発、これまでの自己の研究経緯、あるいは他者の技術開発を含めた状況について、残されている問題を含めて記載してください。（200字程度）

（２）目的

目的を記載してください。（100字程度）

（３）達成目標

達成できる範囲（「いつまでに」、「何を」達成するか極力数値目標を記載）を入れて、具体的に記載してください。「○○に資する」「○○に役立つ」等の曖昧な表現は使用しないこと。（100字程度）

（４）技術開発内容

技術開発目的を達成させるための手法・内容を簡潔に記載してください。

詳細な計画書ではなく、年度ごとの手法や内容の概略が分かるよう記載すること。

（５）想定される成果の概要

得られることが想定される全ての成果について、簡潔に記載してください。（｢・・・に関する知見｣、｢・・・装置やその利用方法｣等を記載すること。）

２　小課題名を記載（以下同じ）

（１）技術開発の進捗状況

（２）目的

（３）達成目標

（４）技術開発内容

（５）想定される成果の概要

**２－２　技術開発成果の活用に向けた計画や想定される取組や体制**

１－４に記載した事項について、成果を迅速に普及に移すため、実施する予定の行動内容を、具体的に記載してください。

**２－３　実施体制**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 技術開発課題 | 担当研究機関・研究室 | 研究担当者 | エフォート（％） |
| 機関 | 研究室 |
| 代表機関 | ○○研究センター | ○○チーム |  |  |
| １　○○○の開発（小課題名） | ○○大学 | ○○研究科 |  |  |
| １－１　○○○の調査（実行課題名） | ○○研究所 | ○○ユニット |  |  |
| １－２　○○○の開発 | ○○農業試験場 |  |  |  |
| １－３　○○○ | ※略称可 |  |  |  |
| ２　△△△の開発 |  |  |  |  |
| ２－１　×××の研究 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

（注１）技術開発代表者には◎、小課題責任者には○、実行課題責任者には△を付してください。

**２－４　予算額**

　令和５年度　○○○,○○○円

　令和６年度　○○○,○○○円

　令和７年度　○○○,○○○円

　合計　　　　○○○,○○○円

**３　実施機関の体制**

**３－１**　実施機関（代表機関及び共同研究機関）の概要、役割

実施機関（代表機関及び共同研究機関）の業務概要、研究員数、財務状況等は、（様式１）のとおり。

コンソーシアムによる開発の場合は、その共同研究機関をメンバーとする理由及び役割分担を明確にしてください。

例えば、共同研究機関がある場合には、以下のとおり記載してください。

１　代表機関

△△△△株式会社

（１）「△△△の開発（担当する実行課題名を記載）」【○○年度～○○年度】

（２）「×××××の開発」【○○年度～○○年度】

２　共同研究機関

□□□□株式会社

メンバーとする理由

△△△に関する開発には、同社の○○の技術が不可欠であるため。

（１）「△△△△△の開発」【○○年度～○○年度】

（２）「◎◎◎◎◎の開発」【○○年度～○○年度】

**３－２　事業実施責任者（技術開発代表者、経理統括責任者、情報管理統括責任者、研究実施責任者、経理責任者、情報管理責任者）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 機関名 |  |
| 代表機関 | 技術開発代　表　者 | ふりがな氏　名 |  | 役職名 |  |
| 所 属 | ○○○部○○課 |
| TEL | ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊(内線） | FAX | ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊ |
| 経理統括責任者 | ふりがな氏　名 |  | 役職名 |  |
| 所 属 | ○○○部○○課 |
| TEL | ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊(内線） | FAX |  ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊ |
| 情報管理統括責任者 | ふりがな氏　名 |  | 役職名 |  |
| 所 属 | ○○○部○○課 |
| TEL | ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊(内線） | FAX |  ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊ |
| 研究実施責任者 | ふりがな氏　名 |  | 役職名 |  |
| 所 属 | ○○○部○○課 |
| TEL | ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊(内線） | FAX | 　 ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊ |
| 経理責任者 | ふりがな氏　名 |  | 役職名 |  |
| 所 属 | ○○○部○○課 |
| TEL | ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊(内線） | FAX |  ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊ |
| 情報管理責任者 | ふりがな氏　名 |  | 役職名 |  |
| 所 属 | ○○○部○○課 |
| TEL | ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊(内線） | FAX |  ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊ |
| 共同研究機関 | 機関名 |  |
| 研究実施責任者 | ふりがな氏　名 |  | 役職名 |  |
| 所 属 | ○○○部○○課 |
| TEL | ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊(内線） | FAX |  ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊ |
| 経理責任者 | ふりがな氏　名 |  | 役職名 |  |
| 所 属 | ○○○部○○課 |
| TEL | ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊(内線） | FAX |  ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊ |
| 情報管理責任者 | ふりがな氏　名 |  | 役職名 |  |
| 所 属 | ○○○部○○課 |
| TEL | ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊(内線） | FAX |  ＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊ |

（注１）代表機関及び全ての共同研究機関について事業実施責任者を記載してください。

（注２）技術開発代表者と経理統括責任者、研究実施責任者と経理責任者は、それぞれ別の者である必要があります。ただし、「農林漁業者等」が個人で参画する場合については、同一の者でも構いません。なお、適切な体制が整うのであれば、情報管理統括責任者（責任者）は、技術開発代表者（研究実施責任者）、経理統括責任者（経理責任者）と同一の者でも構いません。

（注３）必要に応じて用紙を追加して作成してください。

**３－３　当該提案に有用な研究開発実績**

技術開発課題に沿って、提案する方式又は方法に関する国内外の状況、その中での応募者の本技術開発又は本技術開発の円滑な遂行に資する関連研究開発の実績及びその位置付け等を、研究発表等を引用して記載し、提案内容を遂行できる能力を有していることを、携わる全ての研究機関を対象に記載してください。

なお、関連の特許や論文等の一覧は別紙で記載していただいても構いません。

**３－４　技術開発課題実施場所**

提案された技術開発課題を実施する場所とその選定した理由を記載してください。

（記載例）

＜代表機関＞

・実施場所

○○○○研究所○○センター

・選定理由：□□□□

＜共同研究機関＞

・実施場所

△△△△株式会社△△研究所

△△△△大学○○研究室

・選定理由：□□□□

（一部本邦外で実施する場合は、その理由も記載してください。）

**３－５　当該提案に使用する予定の設備等の保有状況**

本委託事業を進めるに当たって使用する予定の主な設備等の保有状況とその用途を記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究機関名 | 設備等の名称 | 内　　　容（使用目的、仕様等を記載してください。） |
|  |  |  |

**４**　**技術開発予算と研究員の年度展開及び初年度予算の概算**

**４－１　技術開発予算と研究員の年度展開**

本委託事業を進めるためには、いかなる技術開発課題をどのような手順で行い、どの程度の経費が必要となるか以下のような一覧表にまとめてください。

なお、参考のため、経費の下の（　）内には、その年度に投入される研究員の予定人数を記載してください。

 　　　　　 （単位：千円、人）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 技術開発課題 | ５年度 | ６年度 | ７年度 | 計 |          |
| １　○○○の開発１－１○○○の調査１－２○○○の開発２　△△△の開発２－１×××の研究２－２□□□の実証 | ＊＊＊（＊）＊＊＊（＊） | ＊＊＊（＊）＊＊＊（＊） |          ＊＊＊（＊）＊＊＊（＊） | ＊＊＊（＊）＊＊＊（＊）＊＊＊（＊）＊＊＊（＊） |
| 合　　　計 |  ＊＊＊ （＊）  |  ＊＊＊ （＊）  |  ＊＊＊ （＊）  | ＊＊＊（＊） |

（注１）消費税（10％）は、技術開発課題ごとに内税で計上してください。

（注２）提案者が技術開発課題を遂行するために必要な予算を計上してください。

なお、予算規模は、社会・経済状況、研究開発費の確保状況等によって変動し得ることもあり、総事業費規模については事務局が確約するものではありません。

**４－２　令和５年度経費積算見積書**

技術開発に必要な経費の見積額を公募要領８に定める委託経費の対象となる経費に従って、記載してください。

　① （単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　　　分 | 金額 | 内訳（主なもの） |
| Ⅰ　直接経費１　人件費２　謝　金３　旅　費４　試験研究費①　機械・備品費②　消耗品費③　印刷製本費④　借料及び損料⑤　光熱水料⑥　燃料費⑦　会議費⑧　賃　金⑨　雑役務費Ⅱ　一般管理費Ⅲ　消費税等相当額総　　　額 | ＊＊，＊＊＊＊＊，＊＊＊＊＊，＊＊＊＊＊，＊＊＊＊＊，＊＊＊＊＊，＊＊＊＊＊，＊＊＊＊＊，＊＊＊＊＊，＊＊＊＊＊，＊＊＊＊＊，＊＊＊＊＊，＊＊＊＊＊，＊＊＊＊＊，＊＊＊＊＊，＊＊＊＊＊，＊＊＊＊＊，＊＊＊ | ○ヶ月×○○円×○人②に概要を記載○○○○○（10,000）（注１）（注２）10％を計上。 |

　（注１）一般管理費の算定は、原則、「Ⅰ　直接経費　４　試験研究費」の１５％以内で計上してください。

　（注２）「Ⅲ　消費税等相当額」は、Ⅰ、Ⅱの経費のうち非課税取引、不課税取引及び免税取引に係る経費の10％を計上してください。

②機械・備品費の内訳

 （単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 機械・備品の名称（メーカー・規格等） | 数量（単位） | 単価 | 合計 | 使用目的・機関 |
| 固液分離機（(株)○○・A-123） | ２（台） | 5,000 | 10,000 | スラリーの固分と液分に分離する・○○株式会社、○○大学 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 合 計 | － | \*\*,\*\*\* | \*\*,\*\*\* |  |

**５**　**研究開発の実績等**

**５－１**現に実施又は応募している公的資金による研究開発

現に実施又は応募している公的資金による研究開発がある場合には、今回応募する技術開発代表者のほか、代表機関及び共同研究機関の研究員ごとに、制度名、研究課題名、実施期間及び予算額を記載してください。また、今回応募する研究課題と関連する場合は、その研究成果・内容を簡潔に記載するとともに、本委託事業の研究課題と明確に区別できることを記載してください。

（記載例）

技術開発代表者名（所属機関名）

・○○費（○○省）、「・・・に関する技術開発」（2021～2023）

・・・・・・・・・・・・・・・・（内容・成果、本計画との違い）

・○○助成費（○○省）、「・・・に関する研究」（申請中）（2023～2024）

・・・・・・・・・・・・・・・・（内容・成果、本計画との違い）

共同研究機関の研究員名（所属機関名）

　・

　・

**５－２　共同研究機関のグループとしてのこれまでの活動状況**

技術開発課題を応募するに当たって、複数の研究機関等が共同で公募課題を受託しようとする場合には、共同研究機関のグループ（完全に同じ研究実施体制でなくても結構です。）としてのこれまでの活動状況（産学官連携に関する研究会、検討会への参画、他機関との共同研究実績等）について、簡潔に記載してください。

**５－３　現に実施又はこれから実施予定の、自己資金により並行して実施する研究開発**

本技術開発課題を受託した後に、当該委託業務から得られた技術開発成果を実用化するために必要な実証研究、最適化研究、製品開発などの研究開発を平行して実施する際は、その研究概要、目標（性能等）を明らかにしてください。

また、受託を希望している研究と類似する自社研究を明確に区別できることを記載してください。

**６**　**遵守する法令・指針等について**

技術開発内容に照らし、遵守しなければならない法令・指針等について、該当するものを「■」としてください。

　□　農林水産省の所管する研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針

　□　その他（法令・指針等名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　□　該当なし

**７**　**契約書に関する合意**

農研機構から提示された委託契約書（案）に記載された条件に基づいて契約することに異存がない場合は、以下の文章を記載してください。

「○○　○○（代表者氏名※）」は、「酪農スラリーの高度肥料利用のための技術開発」の契約に際し、農研機構から提示された委託契約書（案）に記載された条件に基づいて契約することに異存がないことを確認した上で、提案書を提出します。

（※）　応募者が所属する機関の長（コンソーシアムの場合は代表機関）。

様式１

研究実施機関（代表機関及び共同研究機関）（注１）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 代表機関 | 機関名 |  ●●●● |
| 業務概要 | 業務概要を２～３行で簡潔に記載してください。業務概要がインターネット上で閲覧可能な場合は、ホームページアドレスを記載してください。 |
| 研究員数 | 　在籍する研究員総数（概数） | 　　　　　　　　　　　　人 |
|  | うち、当該課題に携わる研究員数（概数） | 　　　　　　　　　　　　人 |
| 財務状況（注２～３） | 　　　年　度 | 令和○○年度 | 令和○○年度 | 令和○○年度 |
| 当期純利益（千円） |  |  |  |
| 資本金　　（千円） |  |
| 国からの補助金等全体の金額及びその年間収入に対する割合　　　　　　　（注４） | 令和○○年度○○．○ ％ |
| 知的財産への取組状況 　　（注５） |  |
| 共同研究機関 | 機関名 |  ●●●● |
| 業務概要 | 業務概要を２～３行で簡潔に記載してください。業務概要がインターネット上で閲覧可能な場合は、ホームページアドレスを記載してください。 |
| 研究員数 |  在籍する研究員総数（概数）　 | 　　　　　　　　　　　　人 |
|  | うち、当該課題に携わる研究員数（概数） | 　　　　　　　　　　　　人 |
| 財務状況（注２～３） | 年　度 | 令和○○年度 | 令和○○年度 | 令和○○年度 |
| 当期純利益（千円） |  |  |  |
| 資本金　　（千円） |  |
| 国からの補助金等全体の金額及びその年間収入に対する割合　　　　　　　（注４） | 令和○○年度○○．○　　　 ％ |
| 知的財産への取組状況　　　（注５） |  |

（注１）代表機関及び全ての共同研究機関について、直近の３年分を記載してください。必要に応じて用紙を追加して作成してください。いずれの項目も概略でかまいません（詳細なパンフレット等の添付は不要です。）。

（注２）財務状況（当期純利益）は、「貸借対照表」又は「損益計算書」の金額を記入してください。

（注３）地方公共団体に関しては、財務状況（当期純利益及び資本金）の記入の必要はありません。

（注４）国からの補助金等全体の金額及びその年間収入に対する割合に関しては、公益又は一般法人についてのみ、直近の年度の割合を記載してください。

（注５）知的財産への取組状況に関しては、知的財産に係る体制、知的財産ポリシーの作成、その他取組について記載してください。

（注６）「農林漁業者等」については、「機関名」及び「業務概要」のみ記入してください。

様式２

研究者一覧

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|   | 氏　名 | 所属・役職（職名） | 主な研究経歴又は実績 | ｴﾌｫｰﾄ(%) |         |
| ○　○　　○　○（△△博士）　　 | （株）○○○○○ ○○○部○○○課長 | 当該課題に関連する主な研究経歴を数行程度で記載（研究経歴書（様式３、４）を添付）してください。 | ○○ |

（注）人件費を計上する場合には、エフォート欄に各研究者の年間の全仕事時間を１００％とした場合に対する本委託事業が占める時間の配分割合（％）を整数で記載してください。なお、「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、通常の業務活動を含めた実質的な全仕事時間を指します。

様式３

技術開発代表者　研究経歴書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 |  | 生年月日 | 　年　月　日（　歳） |                                 |
| 国籍 |  |
| ①所属 |
| ②学位　〔授与機関〕　　　　〔学　　位〕　　　　〔取得年〕　　　　〔専　　攻〕 |
| ③研究開発実務及び管理の経歴並びに受賞歴（記載例）　平成○○－○○年 ○○の研究開発　平成○○　　　　 ○○の研究開発に関し○○学会○○賞受賞　平成○○－○○年「○○の研究開発プロジェクト（※研究制度名）」（○○省）の　　　　　　　　　研究課題「○○の研究開発」においてプロジェクトリーダー　平成○○－○○年「○○の研究開発プロジェクト」（農水省）の研究課題「○○　　　　　　　　　の研究開発」において技術開発代表者 |
| ④現在参画しているプロジェクト名　１）研究制度名：○○省「○○の研究開発プロジェクト」　２）研究課題名：○○の研究開発　３）研究実施期間：平成○○－○○年　４）研究費総額：○○千円　５）エフォート：○％ |
| ⑤本技術開発に関連する最近５年間の主要論文、研究発表、特許等（筆頭者である必要はありません。）（記載例）〔論文〕　１）農林太郎他、”○○の個体有機構造”、○○学会誌、７２巻１０号、ｐ．９３０，２０１８〔研究発表〕　１）T.Norin,et.al,"Improvement of xxxxx Composites by xxxxxx" ,The xxx Fall　　　meeting ' 99, Oct. 12, 2017.〔特許〕　１）農林太郎他、”○○組成物”、特開平３０－１２３４５６ |
| ⑥本技術開発課題との関係（記載例）　平成○年度から、本技術開発課題に関連する先導調査研究「○○の調査研究」に従事し、○○調査委員会の委員長を務める等主導的役割を果たしてきた。 |

－記載方法－

１．研究開発管理の経歴には、研究開発プロジェクトにおけるプロジェクトリーダー、研究代表者、企業等における研究開発マネジメント等全ての御経験を御記入ください。

２．「本技術開発に関連する最近５年間の主要論文、研究発表、特許等」とは、本技術開発課題に関連する研究成果とします。研究成果を示すものとしては、「論文（研究経歴又は専門分野における代表的な論文。学会の査読の無いもの等も可。）」、「研究発表（学会のみならずシンポジウム等での口頭発表等も可。）」、「特許」等があり得ますがこれに限定しません。なお、共著者、共同発表者又は共同発明者でも構いません。

「論文、研究発表、特許等」は、原則として少なくともこれらのうち１つについて当該分野に関する研究成果を示す記載があることが必要です。これらがない研究者においては、当該技術開発課題を遂行する上で当人の知見が不可欠であることを示す事由を記載してください。技術者や分析担当者・技術動向調査担当者等の場合には、「論文」「研究発表」「特許」等はない場合があり得ます。この場合は、当該人物が研究に不可欠である旨を、彼らが有する技能や経験の観点から記載してください。

３．記載紙面が不足した場合は、適宜追加してください。

 様式４

研究員　研究経歴書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 |  | 生年月日 | 　年　月　日（　歳） |                              |
| 国籍 |  |
| ①所属 |
| ②学位　〔授与機関〕　　　　〔学　　位〕　　　　〔取得年〕　　　　〔専　　攻〕 |
| ③研究開発経歴、受賞歴　（記載例）　平成○○－○○年　○○の研究開発　平成○○　　　　　○○の研究開発に関し○○学会○○賞受賞　平成○○－○○年「○○の研究開発プロジェクト」においてプロジェクトリーダー |
| ④現在参画しているプロジェクト名（記載例）　○○省「○○の研究開発プロジェクト」において○○の研究開発 |
| ⑤本技術開発に関連する最近５年間の主要論文、研究発表、特許等（筆頭者である必要はありません。）（記載例）〔論文〕　１）農林太郎他、”○○の個体有機構造”、○○学会誌、７２巻１０号、ｐ．９３０，２０１８〔研究発表〕　１）T.Norin,et.al,"Improvement of xxxxx Composites by xxxxxx" ,The xxx Fall 　　meeting ' 99, Oct. 12, 2017.〔特許〕　１）農林太郎他、”○○組成物”、特開平３０－１２３４５６ |
| ⑥本技術開発課題における役割（記載例）　平成○年度から、本技術開発課題に関連する「○○の研究」に従事し、専門分野である△△△の研究開発実績を基に□□□の目標をクリアするための研究に従事する。 |

－記載方法－

１．研究開発経歴は現職を含みます。過去の研究実績（参画プロジェクト）については、自社プロジェクトのみならず受託プロジェクト等も含めてください。

２．「本技術開発に関連する最近５年間の主要論文、研究発表、特許等」とは、本技術開発課題に関連する研究成果とします。研究成果を示すものとしては、「論文（研究経歴又は専門分野における代表的な論文。学会の査読の無いもの等も可。）」、「研究発表（学会のみならずシンポジウム等での口頭発表等も可。）」、「特許」等があり得ますがこれに限定しません。なお、共著者、共同発表者又は共同発明者でも構いません。

「論文、研究発表、特許等」は、原則として少なくともこれらのうち１つについて当該分野に関する研究成果を示す記載があることが必要です。これらがない研究者においては、当該技術開発課題を遂行する上で当人の知見が不可欠であることを示す事由を記載してください。技術者や分析担当者・技術動向調査担当者等の場合には、「論文」「研究発表」「特許」等はない場合があり得ます。この場合は、当該人物が研究に不可欠である旨を、彼らが有する技能や経験の観点から記載してください。

３．研究経歴書は、登録研究員全員分を御提出願います。人件費の発生しない研究員を登録する場合には、その旨を⑥に記載してください。

様式５

情報管理経歴書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 |  | 生年月日 | 　年　月　日（　歳） |                              |
| ①所属及び役職 |
| ②学歴及び職歴　・　・　・　・ |
| ③情報管理に関する業務経験、研修実績、専門的知識・知見（資格等）、その他特筆すべき事項　　・　・　・ |

－記載方法－

１．情報管理経歴書は、１－６、４－２に記載いただいている統括責任者及び責任者について御提出願います。

様式６

**管理運営機関を活用する理由書**

***Ａ４用紙１枚以内・該当技術課題計画のみ***

|  |  |
| --- | --- |
| 個別課題名 |  |
| 代表機関名 |  | 技術開発代表者名 |  |
| 技術開発管理運営機関名 |  | 技術開発管理運営機関の実施責任者名 |  |

**（理　由）**